

# 第 15 章

準備書記載事項の修正の概要



## 第 15 章 準備書記載事項の修正の概要

「環境影響評価法」第 20 条第 4 項の規定及び「電気事業法」第 46 条の 13 の規定に基づく準備書についての北九州市長からの意見を勘案し、「電気事業法」第 46 条の 14 第 1 項の規定に基づく準備書についての経済産業大臣の勧告を踏まえ、準備書を見直し、その記載事項を修正した。

修正の概要は、第 15-1 表のとおりである。

第 15-1 表(1) 準備書記載事項の修正の概要

項 目	評価書記載頁	修正の内容	修正の理由
第 1 章 事業者の名称、代表者の氏名及び主たる事業所の所在地	1-1 (1)	代表者の氏名を変更した。	代表者交代による。
第 2 章 対象事業の目的及び内容 2.1 対象事業の目的	2.1-1 (3)	本事業が出力変動の大きい太陽光等の再生可能エネルギー活用にも寄与することを追記した。	より詳細な記載とした。
2.2.6 工事の実施に係る工法、期間及び工程計画に関する事項 (6) 騒音及び振動の主要な発生源となる機器の種類及び容量 第 2.2.6 表	2.2-19 (22)	表中の主な用途欄の記載を修正(下線部分削除)した。 修正前：土砂運搬、 修正後：土砂運搬	誤記を修正した。
2.2.7 切土、盛土その他の土地の造成に関する事項 (2) 切土、盛土に関する事項 第 2.2-8 表 第 2.2-10 図	2.2-21、22 (24、25)	・表：新規燃料ガス導管敷設に伴う海底部掘削による発生土量は、「陸域工事」に含まれていることを注釈で追記した。 ・図：浚渫範囲の面積を追記した。	より詳細な記載とした。
① 陸域工事	2.2-21 (24)	・新規燃料ガス導管敷設に伴う海底部掘削による発生土は、陸域に揚げて処理する旨を追記した。 ・工事に伴う発生土を有効利用するまでの間の一時的な仮置き場及び当該仮置き場における雨水等による土砂流出対策・濁水発生対策についての検討事項を追記した。	より詳細な記載とした。
② 海域工事	2.2-21 (24)	浚渫土に関する記載の一部を修正(下線部分削除)した。 修正前：・・・浚渫土は、 <u>残土として</u> 関係法令に基づき・・・ 修正後：・・・浚渫土は、関係法令に基づき・・・	より適切な記載とした。
2.2.9 供用開始後の定常状態における燃料使用量、給排水量その他の操業規模に関する事項 (5) 復水器の冷却水に関する事項 第 2.2-13 図(1)	2.2-31 (34)	取水口図面の DL 表記位置を修正した。	誤記を修正した。
(12) 緑化計画に関する事項 ・本文  ・第 2.2-16 図(1)	2.2-40 (43)	・工事に伴う緑地の改変後に行う緑化復元に当たっての留意事項を追記した。 ・現状と将来の緑地面積の比較表を追記した。	より詳細な記載とした。

第 15-1 表(2) 準備書記載事項の修正の概要

項 目	評価書記載頁	修正の内容	修正の理由
第 3 章 対象事業実施区域及びその周囲の概況 3.1 自然的状況 3.1.1 大気環境の状況 (1) 気象の状況 ② 気象概要 第 3.1-1 図	3.1-4 (48)	・小倉観測局(小倉局)を追記した。 ・風配図凡例罫線(実線、破線)を追記した。	より適切な記載とした。
(2) 大気質の状況 ② 大気質の状況 チ. ダイオキシン類 第 3.1-10 図	3.1-24 (68)	第 3.1-10 図 グラフ縦軸の最小値の表記を修正した。	より適切な記載とした。
3.1.2 水環境の状況 (1) 水象の状況 ② 潮位	3.1-30 (74)	本文を修正(下線部分)した。 修正前:北九州港の潮位は 修正後:北九州港では	より適切な記載とした。
④ 流入河川 第 3.1-28 表、第 3.1-13 図	3.1-32、33 (76、77)	近傍の準用河川、普通河川(境川、枝光川)までを記載対象とし追記した。	より適切な記載とした。
3.1.3 土壌及び地盤の状況 (1) 土壌の状況 ① 土壌汚染の状況 第 3.1-19 図	3.1-57 (101)	土壌測定地点の位置を修正した。	誤記を修正した。
3.1.6 景観及び人と自然との触れ合いの活動の場の状況 (1) 景観の状況 第 3.1-75 表(2)	3.1-104 (148)	表番号を修正した。 修正前:第 3.1-73 表(2) 修正後:第 3.1-75 表(2)	誤記を修正した。
3.1.7 一般環境中の放射性物質の状況 本文 第 3.1-78 表 第 3.1-36 図	3.1-110、111 (154、155)	モニタリングポスト名及び単位表記を最新の出典元の表記に合わせた。	より適切な記載とした。
3.2 社会的状況 3.2.3 河川、湖沼及び海域の利用並びに地下水の利用の状況 (2) 海域の利用状況 第 3.2-12 表、第 3.2-4 図	3.2-11、12 (166、167)	山口県の共第 46 号の漁業権に関する情報を追記した。	より詳細な記載とした。
3.2.5 学校、病院その他の環境の保全についての配慮が特に必要な施設の配置の状況及び住宅の配置の概況	3.2-17 (172)	民家等が存在する位置関係の情報を追記した。	より詳細な記載とした。
第 3.2-17 表	3.2-17 (172)	表中に、学校等の施設までの距離を追加した。	より詳細な記載とした。
第 3.2-18 表	3.2-18 (173)	表中に、病院等の施設までの距離を追加した。	より詳細な記載とした。
第 3.2-7 図(1)、(2)	3.2-19、20 (174、175)	図中に、学校、病院、民家等までの距離を追記した。	より詳細な記載とした。
3.2.8 環境の保全を目的とする法令等により指定された地域その他の対象及び当該対象に係る規制の内容その他の環境の保全に関する施策の内容 (1) 公害関係法令等 ② 規制基準等 ホ. 水質	3.2-52 (207)	福岡県条例に基づく上乗せ排水基準を追記した。	より詳細な記載とした。

第 15-1 表 (3) 準備書記載事項の修正の概要

項 目	評価書記載頁	修正の内容	修正の理由
第 3.2-37 表 (1)	3.2-53 (208)	大腸菌に関する排水基準を修正した。	誤記を修正した。
	3.2-54 (209)	福岡県条例に基づく上乗せ排水基準を追記した。	より詳細な記載とした。
③ その他・環境保全計画等 ニ. 瀬戸内海の環境保全計画	3.2-62 (217)	ニ. 瀬戸内海の環境保全計画について、最新情報に修正した。	より適切な記載とした。
④ その他 イ. 東京電力の火力電源入札に関する関係局長級会議取りまとめの概要 ロ. 2040 年度におけるエネルギー需給の見通し ハ. 電気事業低炭素社会協議会及びカーボンニュートラル行動計画	3.2-65～67 (220～222)	「東京電力の火力電源入札に関する取りまとめ」「エネルギー需給見通し」「電気事業における低炭素社会実行計画」の概要を追記した。	より詳細な記載とした。
第 6 章 環境影響評価方法書についての意見と事業者の見解	中表紙	字句を追記（ <u>下線部分</u> ）した。 第 6 章 環境影響評価方法書について の意見と事業者の見解	脱字を修正した。
6.1 方法書についての住民等の意見の概要及び事業者の見解 6.1.1 方法書の公告及び縦覧等 （1）方法書の公告及び縦覧 ② 公告の方法	6.1-1 (273)	“（別紙-1 参照）” の記載を削除した。	誤記を修正した。
第 8 章 環境影響評価の項目並びに調査、予測及び評価の手法 8.2 調査、予測及び評価の手法の選定 8.2.1 調査、予測及び評価の手法 第 8.2-4 表	8.2-7、14 (311、318)	情報を追記（ <u>下線部分</u> ）した。 【現地調査】 交通の状況を代表する 1 日（平日）とした。 令和 6 年 4 月 9 日（火） <u>12 時</u> ～10 日（水） <u>12 時</u>	より詳細な記載とした。
	8.2-18、20～22、24～26 (322、324～326、328～330)	JIS の発行年度を追記した。	より詳細な記載とした。
第 8.2-5 表 (5) 第 8.2-6 表 (8)	8.2-33 (337) 8.2-49 (353)	項目欄の罫線を削除した。	誤記を修正した。
第 10 章 環境影響評価の結果 10.1 調査結果の概要並びに予測及び評価の結果 10.1.1 大気環境 （1）大気質 ① 調査結果の概要 イ. 気象の状況 （ロ）現地調査 a. 地上気象 （c）観測方法	10.1.1-7 (383)	熱電堆の概要を注釈に記載した。	より詳細な記載とした。
② 予測及び評価の結果 ロ. 土地又は工作物の存在及び供用 （イ）施設の稼働（排ガス） b. 年平均値の予測 （d）予測手法 第 10.1.1-50 表	10.1.1-109 (485)	地上と上層の大気安定度の関係の出典を追記した。	より詳細な記載とした。

第 15-1 表(4) 準備書記載事項の修正の概要

項 目	評価書記載頁	修正の内容	修正の理由
c. 日平均値の予測 (d) 予測手法 第 10.1.1-27 図	10.1.1-113 (489)	図中の脱字を修正（ <u>下線部分</u> ）した。 将来寄与濃度（6号機1軸・2軸）	誤記を修正した。
d. 特殊気象条件下の予測 (a) 逆転層形成時 第 10.1.1-30 図	10.1.1-121 (497)	6号機（1軸）の冷機起動時に用いた煙源諸元の根拠として、「図冷機起動時の排出ガス量及び窒素酸化物排出量（6号機（1軸））」を追記した。	より詳細な記載とした。
(c) 建物ダウンウォッシュ発生時 第 10.1.1-62 表(1)	10.1.1-133 (509)	表中の有効煙突高さを軸毎に記載、修正（ <u>下線部分</u> ）した。 冷機起動 182m 定常運転 264m	誤記を修正した。
(d) 建物ダウンウォッシュを考慮した年平均値の予測 本文	10.1.1-134 (510)	iv. 予測手法の本文に、建物ダウンウォッシュにおける計算の内容を追記した。	より詳細な記載とした。
	10.1.1-136 (512)	v. 予測の結果の本文中の以下の記載を修正した。 修正前：最大着地濃度比が発生 修正後：最大着地濃度比が出現	より適切な記載に修正
(e) 内部境界層発達によるフュミゲーション発生時 第 10.1.1-65 表(1)、(2)	10.1.1-141、 142 (517、518)	表中の記載を修正した。 修正前：安定層気温勾配 修正後：気温勾配	より適切な記載とした。
		海風層の出現高度についての注釈を追記した。	より詳細な記載とした。
第 10.1.1-67 表(1)	10.1.1-144 (520)	表中の最大着地濃度出現距離の値を修正した。 修正前： 定常運転時 0.6km 冷機起動時 0.5km 修正後： 定常運転時 0.8km 冷機起動時 0.7km	誤記を修正した。
第 10.1.1-40 図(2)	10.1.1-145 (521)	図中の記載を修正（ <u>下線部分</u> ）した。 有効煙突高さ6号(2軸)（ <u>定常運転</u> ） 有効煙突高さ6号(1軸)（ <u>冷気起動</u> ）	誤記を修正した。
第 10.1.1-40 図(1)、(2)		図中の注釈を修正した。	より適切な記載とした。
(2) 騒音 ① 調査結果の概要 イ. 道路交通騒音の状況 (イ) 文献その他の資料調査	10.1.1-162 (538)	以下、字句を追記（ <u>下線部分</u> ）した。 「第3章 3.1 自然的状況 3.1.1 大気環境の状況・・・」	より詳細な記載とした。
(ロ) 現地調査 d. 調査方法 (a) 道路交通騒音		JIS の発行年度を追記した。	より詳細な記載とした。
ニ. 騒音の状況 (イ) 現地調査 d. 調査方法 (a) 騒音	10.1.1-170 (546)	JIS の発行年度を追記した。	より詳細な記載とした。

第 15-1 表(5) 準備書記載事項の修正の概要

項 目	評価書記載頁	修正の内容	修正の理由
② 予測及び評価の結果 イ. 工事の実施 (ロ) 建設機械の稼働 c. 予測の結果 第 10.1.1-88 表(1)、(2)	10.1.1-187 (563)	現況実測値からの増加分を追記した。	より詳細な記載とした。
ロ. 土地又は工作物の存在及び供用 (イ) 施設の稼働 (機械等の稼働) b. 予測の方法 (d) 予測の手法 第 10.1.1-53 図	10.1.1-190 (566)	図中の閉じ括弧の書体を修正した。 修正前：(LAeq) 修正後：(LAeq)	誤記を修正した。
i. 計算式	10.1.1-191、 192 (567、568)	出典：ISO の発行年度を追記した。	より詳細な記載とした。
c. 予測の結果 第 10.1.1-90 表(1)、(2)	10.1.1-195 (571)	現況実測値からの増加分を追記した。	より詳細な記載とした。
d. 評価の結果	10.1.1-196 (572)	句点「。」を追記した。	誤記を修正した。
(3) 振動 ① 調査結果の概要 イ. 道路交通振動の状況 (イ) 現地調査 d. 調査方法 (a) 道路交通振動	10.1.1-202 (578)	JIS の発行年度を追記した。	より詳細な記載とした。
ニ. 振動の状況 (イ) 現地調査 d. 調査方法	10.1.1-207 (583)	JIS の発行年度を追記した。	より詳細な記載とした。
② 予測及び評価の結果 イ. 工事の実施 (ロ) 建設機械の稼働 c. 予測の結果 第 10.1.1-101 表	10.1.1-224 (600)	現況実測値からの増加分を追記した。	より詳細な記載とした。
イ. 土地又は工作物の存在及び供用 (イ) 施設の稼働 (機械等の稼働) c. 予測の結果 第 10.1.1-103 表(1)、(2)	10.1.1-230 (606)	現況実測値からの増加分を追記した。	より詳細な記載とした。
(4) 低周波音 ② 予測及び評価の結果 イ. 土地又は工作物の存在及び供用 (イ) 施設の稼働 (機械等の稼働) b. 予測の方法 (d) 予測手法 第 10.1.1-67 図	10.1.1-242 (618)	図中の閉じ括弧を削除した。 修正前：(G 特性) (平坦特性) 修正後：(G 特性) (平坦特性)	誤記を修正した。
c. 予測の結果 第 10.1.1-109 表(1)、(2)	10.1.1-246 (622)	現況実測値からの増加分を追記した。	より詳細な記載とした。
d. 評価の結果 第 10.1.1-70～77 図	10.1.1-249～ 260 (625～ 636)	現況実測値、予測値及び合成値を色で区別した。	より適切な記載とした。
第 10.1.1-75 図(1)	10.1.1-255 (631)	第 10.1.1-75 図(1)と同じ図の掲載 (誤記) を削除した。	誤記を修正した。

第 15-1 表(6) 準備書記載事項の修正の概要

項 目	評価書記載頁	修正の内容	修正の理由
10.1.2 水環境 (1) 水質 ① 調査結果の概要 イ. 水の汚れの状況 (イ) 文献その他の資料調査 b. 調査結果	10.1.2-1 (637)	・以下、字句を追記（ <u>下線部分</u> ）した。 「第3章 <u>3.1 自然的状況</u> 3.1.2 水環境の状況・・・」  ・以下、字句を削除（ <u>下線部分</u> ）した。 「・・・3.1.2 水環境の状況 (2) 水質の状況 ② <u>海域の水質の</u> 状況 イ. <u>海域</u> 」・・・	より適切な記載とした。
f. 調査結果 第 10.1.2-4 表	10.1.2-8 (644)	表中の 75% 値の欄を削除した。	より適切な記載とした。
ロ. 富栄養化の状況 (イ) 文献その他の資料調査 b. 調査結果	10.1.2-9 (645)	以下、字句を追記（ <u>下線部分</u> ）した。 「第3章 <u>3.1 自然的状況</u> 3.1.2 水環境の状況・・・」	より詳細な記載とした。
ニ. 水温（温排水）の状況 (イ) 文献その他の資料調査 b. 調査結果	10.1.2-16 (652)	合理化ガイドラインの手法 1 の適用に当たっての検討項目を追記した。	より適切な記載とした。
第 10.1.2-4 図 第 10.1.2-5 図	10.1.2-17 (653)	注釈に典拠を追記した。	より適切な記載とした。
ホ. 流況の状況 (イ) 文献その他の資料調査 b. 調査結果	10.1.2-18 (654)	以下、字句を追記（ <u>下線部分</u> ）した。 「第3章 <u>3.1 自然的状況</u> 3.1.2 水環境の状況・・・」	より詳細な記載とした。
ヘ. その他（気象及び一般海象の状況） (ロ) 一般海象の状況		以下、字句を修正（ <u>下線部分</u> ）した。 「第3章 3.1 自然的状況 3.1.2 水環境の状況 (2) <u>水質の状況</u> 」	誤記を修正した。
(2) 底質 ① 調査結果の概要 イ. 有害物質に係る底質の状況 (イ) 文献その他の資料調査 b. 調査結果	10.1.2-32 (668)	以下、字句を追記（ <u>下線部分</u> ）した。 「第3章 <u>3.1 自然的状況</u> 3.1.2 水環境の状況・・・」	より詳細な記載とした。
② 予測及び評価の結果 イ. 工事の実施 (イ) 建設機械の稼働 d. 評価の結果	10.1.2-38 (674)	以下、字句を追記（ <u>下線部分</u> ）した。 (a) 環境影響の回避・低減に関する評価	脱字を修正した。
10.1.3 動物 (1) 重要な種及び注目すべき生息地（海域に生息するものを除く。） ① 調査結果の概要 ロ. 鳥類相の状況 第 10.1.3-5 表	10.1.3-7 (681)	表中のルート L6 及び L7 の“主な植生”と“調査ルートの概要”欄の記載を入れ替えた。	誤記を修正した。
第 10.1.3-2 図	10.1.3-8 (682)	図中の L8 表記を L7 へ修正した。	誤記を修正した。
ヘ. 重要な種及び注目すべき生息地の分布、生息の状況及び生息環境の状況 (イ) 文献その他の資料調査 c. 調査結果	10.1.3-28 (702)	以下、字句を追記（ <u>下線部分</u> ）修正した。 「第3章 <u>3.1 自然的状況</u> 3.1.5 動植物の生息又は・・・」	より適切な記載とした。



第 15-1 表(7) 準備書記載事項の修正の概要

項 目	評価書記載頁	修正の内容	修正の理由
(ロ) 現地調査 b. 調査結果 第 10.1.3-12 図(3)、(4)	10.1.3-53、54 (727、728)	ハヤブサの確認位置(猛禽類調査)について、採餌地点と採餌止まり地点を分けて示した図を追記した。	より詳細な記載とした。
(2) 海域に生息する動物 ① 調査結果の概要 イ. 魚等の遊泳動物の状況 (イ) 文献その他の資料調査 b. 調査結果	10.1.3-89 (763)	以下、字句を追記(下線部分)した。 「第3章 3.1 自然的状況 3.1.5 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況 (1) 動物の生息の状況 ③動物相の概要(海域)」	より詳細な記載とした。
ロ. 潮間帯生物(動物)の状況 (イ) 文献その他の資料調査 b. 調査結果	10.1.3-93 (767)	以下、字句を追記(下線部分)した。 「第3章 3.1 自然的状況 3.1.5 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況 (1) 動物の生息の状況 ③動物相の概要(海域)」	より詳細な記載とした。
(ロ) 現地調査 e. 調査結果(取水設備工事場所及び岸壁整備工事場所前面)	10.1.3-95 (769)	以下、字句を修正(下線部分)した。 修正前:海面動物門 修正後:海綿動物門	誤記を修正した。
(ロ) 現地調査 f. 調査結果(放水口近傍:補完調査) (a) 目視観察調査 第 10.1.3-25 表 第 10.1.3-21 図	10.1.3-100、101 (774、775)	表中の夏季、秋季の主な出現種等の欄の記載を修正した。  図中の出現種の記載を修正した。	誤記を修正した。
ハ. 底生生物の状況 (イ) 文献その他の資料調査 b. 調査結果	10.1.3-103 (777)	以下、字句を追記(下線部分)した。 「第3章 3.1 自然的状況 3.1.5 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況 (1) 動物の生息の状況 ③動物相の概要(海域)」	より詳細な記載とした。
ニ. 動物プランクトンの状況 (イ) 文献その他の資料調査 b. 調査結果	10.1.3-115 (789)	以下、字句を追記(下線部分)した。 「第3章 3.1 自然的状況 3.1.5 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況 (1) 動物の生息の状況 ③動物相の概要(海域)」	より詳細な記載とした。
ホ. 卵・稚仔の状況 (イ) 文献その他の資料調査 b. 調査結果	10.1.3-121 (795)	以下、字句を追記(下線部分)した。 「第3章 3.1 自然的状況 3.1.5 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況 (1) 動物の生息の状況 ③動物相の概要(海域)」	より詳細な記載とした。
ヘ. 重要な種及び注目すべき生息地の分布、生息の及び生息環境の状況 (イ) 文献その他の資料調査 b. 調査結果	10.1.3-131 (805)	以下、字句を追記(下線部分)した。 「第3章 3.1 自然的状況 3.1.5 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況 (1) 動物の生息の状況 ③動物相の概要(海域)」	より詳細な記載とした。
(ロ) 現地調査 d. 調査結果 第 10.1.3-42 表(1)、(2)	10.1.3-136、137 (810、811)	以下、注釈の字句を追記(下線部分)した。 修正前:日本産魚類図鑑 修正後:日本産魚類大図鑑	誤記を修正した。

第 15-1 表(8) 準備書記載事項の修正の概要

項 目	評価書記載頁	修正の内容	修正の理由
(ロ) 現地調査 d. 調査結果 第 10.1.3-42 表(1)、(2)	10.1.3-136、137 (810、811)	“分布・生息環境等”を“分布・生態等”に修正した。 また、[産卵]、[食性]の項は設けずに[分布等]、[生態等]の項のみの記載に修正した。	より適切な記載とした。
② 予測及び評価の結果 イ. 土地又は工作物の存在及び供用 (イ) 地形改変及び施設の存在 c. 予測の結果 (b) 潮間帯生物 (動物)	10.1.3-143 (817)	以下、字句を修正 (下線部分) した。 修正前: 海面動物門等 修正後: 海綿動物門等	誤記を修正した。
10.1.4 植物 (1) 重要な種及び重要な群落 (海域に生育するものを除く。) ① 調査結果の概要 イ. 植物相の状況 (ロ) 現地調査 c. 調査結果 本文及び第 10.1.4-4 表並びに第 10.1.4-2 図	10.1.4-5~7 (829~831)	「その他植林」の表現を具体的な植生が分かる呼称に修正した。	より適切な記載とした。
ハ. 重要な種及び重要な群落の分布、生育の状況及び生育環境の状況 (イ) 文献その他の資料調査 c. 調査結果	10.1.4-8 (832)	以下、字句を追記 (下線部分) した。 「第 3 章 3.1 自然的状況 3.1.5 動植物の生息又は・・・」	より詳細な記載とした。
(ロ) 現地調査 b. 調査結果 本文 第 10.1.4-6 表	10.1.4-10、11 (834、835)	ニラバランの確認状況について、生育環境の表現を修正した。	より適切な記載とした。
(2) 海域に生育する植物 ① 調査結果の概要 イ. 潮間帯生物 (植物) の状況 (イ) 文献その他の資料調査 b. 調査結果	10.1.4-17 (841)	以下、字句を追記 (下線部分) した。 「第 3 章 3.1 自然的状況 3.1.5 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況 (2) 植物の生息の状況 ③植物相の概要 (海域)」	より詳細な記載とした。
ロ. 海藻草類の状況 (イ) 文献その他の資料調査 b. 調査結果	10.1.4-27 (851)	以下、字句を追記 (下線部分) した。 「第 3 章 3.1 自然的状況 3.1.5 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況 (2) 植物の生息の状況 ③植物相の概要 (海域)」	より詳細な記載とした。
ハ. 植物プランクトンの状況 (イ) 文献その他の資料調査 b. 調査結果	10.1.4-38 (862)	以下、字句を追記 (下線部分) した。 「第 3 章 3.1 自然的状況 3.1.5 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況 (2) 植物の生息の状況 ③植物相の概要 (海域)」	より詳細な記載とした。

第 15-1 表(9) 準備書記載事項の修正の概要

項 目	評価書記載頁	修正の内容	修正の理由
10.1.5 景観 (1) 主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観 ① 調査結果の概要 イ. 眺望点の状況 (イ) 文献その他の資料調査 d. 調査結果 第 10.1.5-1 表(1)、(2) 第 10.1.5-3 表	10.1.5-3、4、12 (887、888、896)	日常的に利用されている施設について、利用区分に「日常」を追記した。  第 10.1.5-1 表(2) 「日常」の定義を説明した注釈を追記した。	より詳細な記載とした。
ハ. 眺望景観の状況 (イ) 主要な眺望点の選定 b. 選定結果 第 10.1.5-3 表	10.1.5-12 (896)	以下、「注：3.」の記載を修正（ <u>下線部分</u> ）した。  3. 方位と距離は、 <u>主要な眺望点からの 6 号機煙突の方位（8 方位）及び直線距離を示す。</u>	誤記を修正した。
② 予測及び評価の結果 イ. 土地又は工作物の存在及び供用 (イ) 地形改変及び施設が存在 b. 予測の手法	10.1.5-14、15 (898、899)	本文及び第 10.1.5-6 図 完成予想図を追記した。	より詳細な記載とした。
② 予測及び評価の結果 イ. 土地又は工作物の存在及び供用 (イ) 地形改変及び施設が存在 c. 予測結果 (b) 主要な眺望景観の状況	10.1.5-15～17 (899～901)	発電所煙突と主要な眺望点との位置関係（方位及び距離）を説明した文章を修正（ <u>下線部分</u> ）した。 修正前：発電所煙突の 修正後：発電所煙突は	より適切な記載とした。
10.1.6 人と自然との触れ合いの活動の場 ① 調査結果の概要 ハ. (ロ) 現地調査 e. 調査結果	10.1.6-8 (920)	第 10.1.6-3 表 日明・海峡釣り公園の利用の状況の文章表現を修正した。	より適切な記載とした。
ニ. 交通量に係る状況	10.1.6-9 (921)	以下、字句を追記（ <u>下線部分</u> ）した。 「第 3 章 3.2 社会的状況 3.2.4 交通の状況」	より詳細な記載とした。
10.1.7 廃棄物等 (2) 残土 ① 予測及び評価の結果 イ. 工事の実施 (イ) 造成等の施工による一時的な影響 a. 環境保全措置  d. 評価の結果 (a) 環境影響の回避・低減に関する評価	10.1.7-6、7 (934、935)	・環境保全措置の記載の一部を修正（ <u>下線部分</u> 削除）した。 修正前：海域工事に伴う浚渫土は、 <u>残土として関係法令に基づき</u> ・・・ 修正後：海域工事に伴う浚渫土は、関係法令に基づき・・・  ・残土処理業者の選定に関する環境保全措置を追記した。	・より適切な記載とした。  ・北九州市長意見を踏まえた記載内容の見直しによる。

第 15-1 表(10) 準備書記載事項の修正の概要

項 目	評価書記載頁	修正の内容	修正の理由
10.1.8 温室効果ガス等 (1) 二酸化炭素 ① 予測及び評価の結果 イ. 土地又は工作物の存在及び供用 (イ) 施設の稼働(排ガス) c. 予測の結果	10.1.8-2 (938)	参考として、工事用資材等の搬出入及び建設機械の稼働に伴う二酸化炭素排出量(想定)算出結果を追記した。	より詳細な記載とした。
d. 評価の結果 (b) 環境保全の基準等との整合性	10.1.8-3 (939)	以下、字句を修正(下線部分)した。 修正前: ガスタービン 修正後: ガスタービ <del>ン</del>	誤記を修正した。
	10.1.8-3、4 (939、940)	経済産業大臣勧告を踏まえた温室効果ガス削減に向けた取り組みを追記した。	経済産業大臣勧告を踏まえた記載内容の見直しによる。
10.2 環境の保全のための措置 10.2.1 環境の保全のための措置の基本的な考え方	10.2-1、2 (941、942)	経済産業大臣勧告を踏まえた温室効果ガス削減の取り組みに関する環境保全の基本的な考え方を追記した。	経済産業大臣勧告を踏まえた記載内容の見直しによる。
10.2.2 環境保全措置の検討の経緯及び結果 (3) 工事の実施に係る環境保全措置の検討 ③ 水環境(水質[水の濁り]、底質[有害物質])ー建設機械の稼働	10.2-6、7 (946、947)	海域工事の詳細を追記しました。	より詳細な記載とした。
④ 水環境(水質[水の濁り])ー造成等の施工による一時的な影響	10.2-7 (947)	工事実施段階において、石炭灰を含む土壌の性状由来の有害物質が確認された場合の対応について追記した。	より詳細な記載とした。
⑤ 動物(重要な種及び注目すべき生息地)、植物(重要な種及び重要な群落)		ハヤブサの利用箇所への不要な立ち入り配慮に関して、必要に応じて、物理的な対策を検討する旨を追記した。	より詳細な記載とした。
⑦ 廃棄物等(残土)ー造成等の施工による一時的な影響	10.2-9 (949)	残土処分に関する関係法令の扱いについての検討経緯を追記した。	より詳細な記載とした。
(4) 土地又は工作物の存在及び供用に係る環境保全措置の検討 ① 大気環境(大気質[窒素酸化物])ー施設の稼働(排ガス)	10.2-10 (950)	経済産業大臣勧告を踏まえた大気環境に対する影響低減に向けた取り組みを追記した。	経済産業大臣勧告を踏まえた記載内容の見直しによる。
⑥ 動物(重要な種及び注目すべき生息地)、植物(重要な種及び重要な群落) ー地形改変及び施設の存在	10.2-11 (951)	工事に伴う緑地の改変後に行う緑地復元の際の樹種の採用に当たっての配慮に係る検討内容を追記した。	より詳細な記載とした。
		ハヤブサの利用箇所への不要な立ち入り配慮に関して、必要に応じて、物理的な対策を検討する旨を追記した。	より詳細な記載とした。
⑪ 温室効果ガス等(二酸化炭素)ー施設の稼働(排ガス)	10.2-13、14 (953、954)	「九電グループ カーボンニュートラルビジョン 2050」の概要を追記した。	経済産業大臣勧告を踏まえた記載内容の見直しによる。

第 15-1 表(11) 準備書記載事項の修正の概要

項 目	評価書記載頁	修正の内容	修正の理由
10.2.3 環境保全措置の検討結果の整理	10.2-17 (957)	夏季の気温上昇に伴う乾燥等により飛散量の増加が見込まれる場合には、残土へのシート被覆等の適切な措置を行う旨を追記した。	北九州市長意見を踏まえた記載内容の見直しによる。
	10.2-25 (965)	残土処理業者の選定に関する環境保全措置を追記した。	北九州市長意見を踏まえた記載内容の見直しによる。
	10.2-38 (978)	以下、字句を追記（ <u>下線部分</u> ）した。 修正前：ガスター <u>ビン</u> 修正後：ガスター <u>ビ</u> ン	誤記を修正した。
10.2.4 環境保全措置に係る環境監視計画 本文	10.2-39 (979)	以下の内容を追記（（ <u>下線部分</u> ）した。 修正前：所要の対策を 修正後：追加的な環境保全措置又は所要の対策を	経済産業大臣勸告を踏まえた記載内容の見直しによる。
第 10.2-4 表	10.2-40 (980)	字句を削除（ <u>下線部分</u> ）した。 1. 調査方法 一般排水の水質（化学的酸素要求量、窒素 <u>含</u> 含有量、 <u>磷</u> 含有量）を測定する。	誤記を修正した。
10.4 環境影響の総合的な評価	10.4-1～119 (987～1105)	「10.1 調査結果の概要並びに予測及び評価の結果」における修正内容を反映した。	記載内容の見直しによる。